

なかの まつがおか

(題字 一樹 和彦)

第45号【防災特別号】

10月25日
2020年(令和2年)
発行：松が丘片山町会防災会
編集：広報部

本紙は松が丘片山町会ホームページからご覧いただけます。



【第二問】地震が収まり自宅に戻ったところ、被害があり生活できそうもありません。どこか避難所へ行けばよいでしょうか？

【第四問】災害時必要な資機材の倉庫設置場所は、松が丘公園(松が丘1の2)ともう一箇所はどこでしょうか？

【第七問】地震発生後、柱に足が挟ま

【第一問】大規模地震が発生しました。火災の危険もあり、家族で避難しなければいけません。近くにある比較的安全な避難場所はどこでしょうか？

【第五問】災害時必要な資機材のうち、図の機材は何という名前でしょうか？

【第六問】次の①～⑩は、地震で避難する時に必要とされる代表的なもの10個ですが、大きな地震が起きたとき最も重要なものは何ですか？

【第三問】消防団は、災害時に出動、地域防災リーダーとして、防災訓練指導や救命講習指導など、幅広い消防団活動を行っています。火災予防運動や年末年始等には、各地域の皆さんに「火の〇〇」を呼びかけています。

【第八問】洪水ハザードマップで赤いエリアにいる時に、大雨特別警報が発表されました。正しい行動は？

命を守る防災クイズ

何問とけるかな？

いざという時の備えできてますか？

【第五問】災害時必要な資機材のうち、図の機材は何という名前でしょうか？



【第八問】洪水ハザードマップで赤いエリアにいる時に、大雨特別警報が発表されました。正しい行動は？



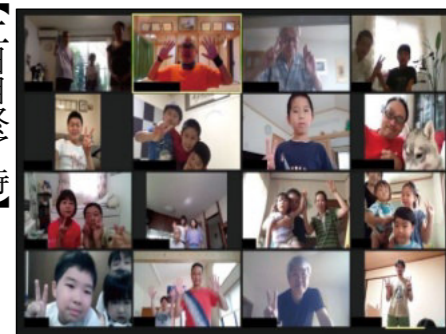
答えは8ページに掲載しています。クイズと正解は、松が丘片山町会ホームページにも掲載しています。



子ども会主催 リモート行事大成功

れる中、新しい形のイベントとして、参加頂いた皆様の夏の思い出の1ページとなったことと思います。

【景品配布時】
【二日目終了時】



●オンラインラジオ体操

コロナの影響で軒並みイベントが中止となる中、今期初の町会イベントとしてオンラインラジオ体操を8月22日(土)、23日(日)に開催しました。

【二日目終了時】

●リモート親子工作

例年のように片山会館に集い親子と一緒に工作を楽しむことは叶いませんでしたが、今年は各家庭で、島ぞうりを親子で工作してもらったこととなりました。参加親子に送付頂いた島ぞうりがこちらです。

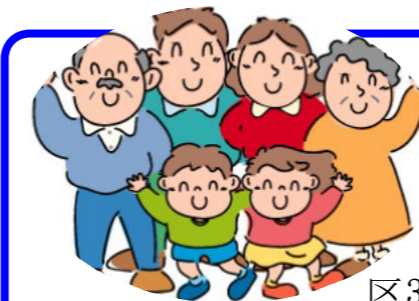


防災クイズの答え

- 一 哲学堂公園一帯
- 二 令和小学校
- 三 用心
- 四 松が丘北野神社
- 五 油圧ジャッキ
- 六 命
- 七 B
- 八 C



新規町会員を募集中です



安全で安心なまちづくりを目指して、さまざまな活動を行っています。現在町会に加入されているのは、松が丘地区3002世帯の40%弱です。ぜひ町会に加入して、松が丘山ふるさとライフをお楽しみください。町会費はご家族単位で月額200円です。お問い合わせは町会長、山田晃 (TEL03-3386-2956) まで。

この地域の災害発生時の対応は？

水害時避難所：中野区立令和小学校（中野区上高田5丁目35の3）

●水害発生時の行動手順と事前準備について

水害は、事前にその規模を予測できない大地震と違い、気象予報や防災情報などによって、事前に対応を選べる災害です。



① 事前に自宅周辺や学校、駅などの生活圏が掲載されているハザードマップを見て、どこが浸水想定区域に入っているか、どの程度の浸水が予測されているのか

を確認しておく。

② 浸水想定区域に入っている場合は、自宅の上層階へ避難するのか、安全な親戚・知人宅へ避難するのか、水害時避難所へ避難するのかを考えておく。

③ 気象情報の警戒レベルや中野区が発令する避難情報のレベルなどを指標に、どういう状況の時に行動を開始するのかを決めておく。



④ 自宅からの避難を想定

⑤ 水害が予想される気象状況となった場合は、こまめに気象情報や中野区が発令する避難情報を入力し、状況に応じて、行動を開始する。

⑥ 避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はない。



⑦ 豪雨時の屋外の移動は大変危険。やむおえず車両での移動や車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分確認する。

ごみ袋を二重にして中に半分程度水を入れ、袋の口をしぼると簡易水のうができます。



止水板や箱と組み合わせ、玄関や駐車場の土のう代わりに使えます。



●災害・避難情報の入手方法
・中野区ホームページ
・中野区公式フェイスブック
・防災情報メールマガジン（事前登録が必要です）
・中野区防災行政無線（音声を確認できなかった場合は03-3228-1572で確認できます）
●家庭での浸水対策
・側溝、雨水枡の掃除
・地下設備への事前対策
・簡易水のうで浸水防止
【簡易水のうの作り方】

●避難所運営組織

令和小学校避難所運営組織は、次のように構成されています。

ここでは、松が丘片山町会防災会と中野パシフィック防災会の役員について紹介します（Pは中野パシフィック防災会の略 他地域の防災会役員名は省略）。

なお、松が丘片山町会防災会は、町会役員がその担当役職に応じ自動的に兼任する事となっています。

●運営本部 避難所の開設・閉鎖、避難所運営管理の総合調整。

山田晃（町会防災会長／町会長）

山下圭一（町会防災会副会長／町会副会長）

城所清二（町会防災会副会長／町会副会長）
三分団長
久保田巖（町会相談役／P会長）

塚原眞理子（民生児童委員）

令和小学校校長、副校長、地域本部避難所班長（中野区職員）。

●庶務部 各所との連絡調整、避難者名簿等の作成管理、避難者の部屋への誘導、帰宅困難者・ボランティア対応、動物飼育管理など。

梅原裕之（町会文化部長／子ども会会長）

小山稠則（町会監査）
塚本謹一（町会総務）
松田利也（P）

●避難支援部 安否確認情報の収集や名簿への照合、安否確認、避難支援活動など。

興栢与利子（防災会広報部長／町会副会長）

杉山信裕（防災会副部長／町会広報部長）
興栢敬二（町会防犯部長／民生児童委員）

塚原眞理子（民生児童委員）

眞後美園（民生児童委員）

●情報連絡部 避難者の情報収集・連絡調整、避難者と地域内への情報提供、地域本部との交信 特設公衆電話の設置・運営など

長谷川満成（町会総務）
八鍬吉男（町会防災・防火部長）
斉藤嘉雅（町会環境緑化部長）

大竹明（P）

●物資調達部 食糧・水・生活物資等の調達・受け入れ・分配、管理、炊き出し、浄水器・発電機・投光機器などの運用と管理など。

松島信一郎（防災会避難所運営部長／町会副会長）
川合通裕（町会青年部代行）
屋部麻利子（P）

●救護衛生部 負傷者の応急手当、病人の看護、避難所施設の衛生管理、医療機関や対保健福祉部との連絡など。

急手当、病人の看護、避難所施設の衛生管理、医療機関や対保健福祉部との連絡など。

米山ゆう（防災会救護部長／町会副会長）

平柳和子（防災会情報連絡委員／町会副会長）
白畑春美（町会会計）
富井裕子（町会福祉厚生部長）

杉本恵美子（町会婦人部長）
飯畑ミイ子（町会会計）
屋部豊彦（P）

●災害時必要な資機材倉庫設置場所と資材一覧

【設置場所】
・松が丘公園
（松が丘1の2）
・松が丘北野神社
（松が丘2の27）

※倉庫の鍵は町会役員並びに近所のお宅が保管

【資材】 トランジスタメ

ガホン、担架、組立式リヤカー、小型発電機、投光器、コードリール、ハンマー、

ボール、とびぐち、のこぎり、バチヅル、シャベル、ブリキバサミ、ホルトクリップ、油圧ジャッキ、救急ロープ、車いす、一輪車、軽可搬消火ポンプ、スタンバイパイプ、ヘルメット、懐中電灯など。

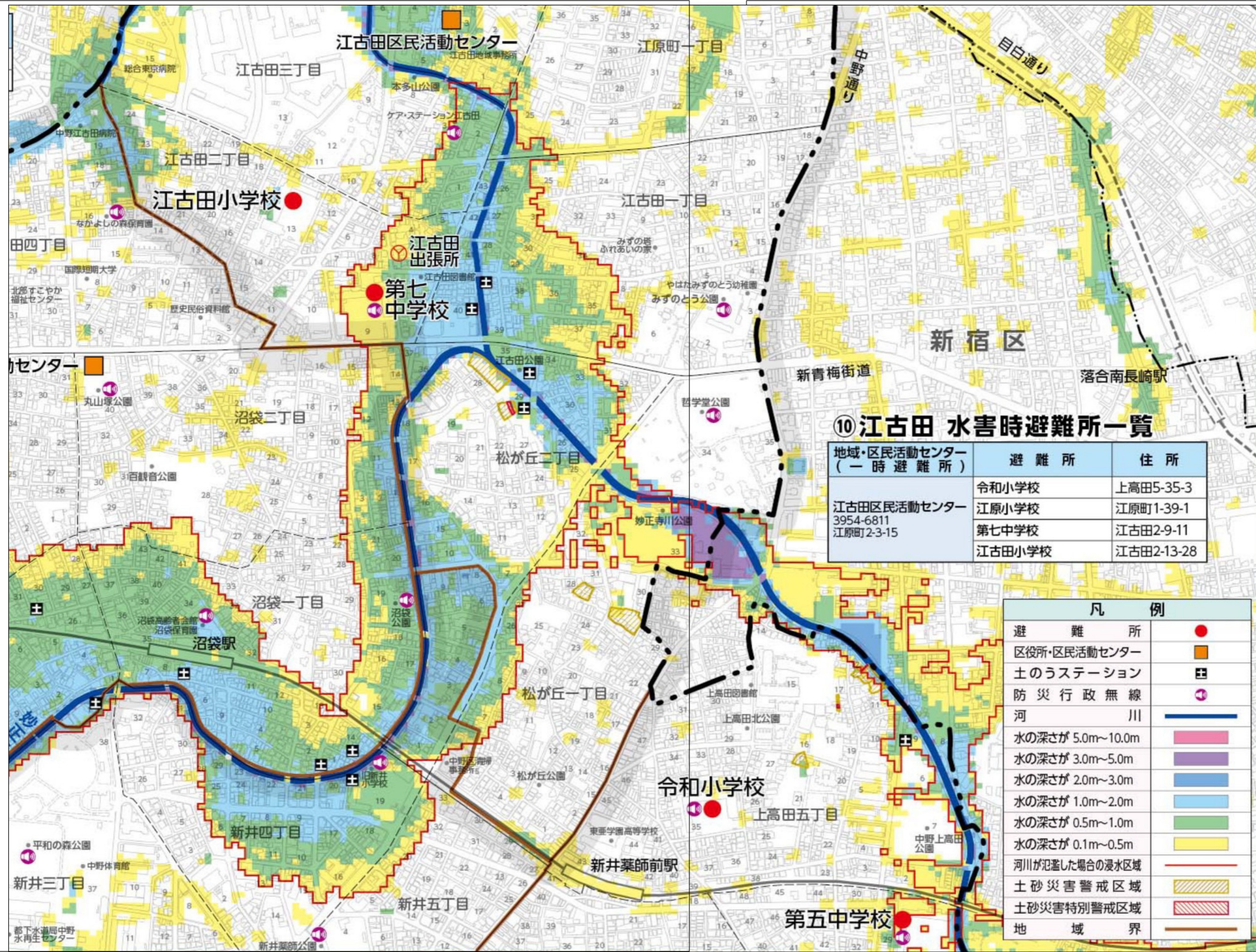


また、スタンドパイプが設置できる黄色い線で囲まれたマンホール消火栓も町内に50か所弱設置されている。



各設置場所は、町会ホームページの「松が丘片山町会マップ」に掲載。

【松が丘エリア】 水害ハザードマップ



⑩ 江古田 水害時避難所一覧

地域・区民活動センター (一時避難所)	避難所	住所
江古田区民活動センター 3954-6811 江原町2-3-15	令和小学校	上高田5-35-3
	江原小学校	江原町1-39-1
	第七中学校	江古田2-9-11
	江古田小学校	江古田2-13-28

凡 例

避難所	●
区役所・区民活動センター	■
土のうステーション	⊕
防災行政無線	Ⓜ
河 川	—
水の深さが 5.0m~10.0m	■
水の深さが 3.0m~5.0m	■
水の深さが 2.0m~3.0m	■
水の深さが 1.0m~2.0m	■
水の深さが 0.5m~1.0m	■
水の深さが 0.1m~0.5m	■
河川が氾濫した場合の浸水区域	—
土砂災害警戒区域	■
土砂災害特別警戒区域	■
地 域 界	—

想定最大規模降雨（時間最大雨量153mm、総雨量690mm）となった場合の浸水が予想される区域と浸水深と避難所を示したものです。
平成28年時点での河川及び下水道の整備状況などを考慮して作成されています。
（「中野区ハザードマップ」より抜粋）

この地域の大規模地震発生時の対応は？

広域避難場所：哲学堂公園 一带

避難所：中野区立令和小学校（中野区上高田5丁目35の3）

対象防災会：松が丘山町会防災会、中野パシフィック防災会、

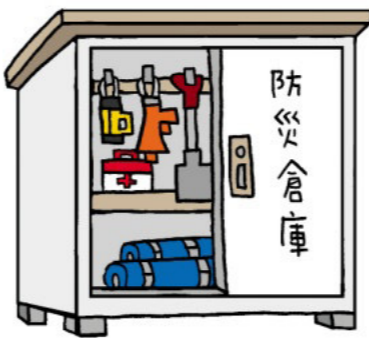
上高田北地域防災会、新井北防災会、新井中防災会

●大規模地震発生時の行動手順と事前準備について

- ① 事前に避難所となる令和小学校の位置、道順を家族で確認しておく。
- ② 家族の待ち合わせ場所を令和小学校にするなど事前に決めておく。
- ③ 地震発生時はまず、自身、家族の安全確保を第一に行う。
- ④ 火災の心配があれば、ご近所に声をかけながら、哲学堂公園などの避難場所に一時避難する。
- 町会避難誘導部長（町会

各地区部長）

- 1部：東裕子、2部：門倉伸子、3部：師敏雄、4部：金丸憲夫、5部：保坂むつみ、6部：小林智、7部：内川恵三郎（白畑春美）、8部：屋部豊彦、9部：佐藤康子、10部：齋藤嘉雅、11部：佐々木延子、12部：ファミリーヒルズ哲学堂公園管理組合、13部：藤和シティーホームズ新井薬師前管理組合、14部：ライオンズマンション哲学堂公園管理組合、15部：Jパーク哲学堂公園管理組合
- ⑤ 地震が収まり、火災の



危険がないと判断できる状況になったら、自宅の被害状況を確認する。

⑥ 自宅で居住の継続ができる状況であれば在宅避難を、被害があり、自宅に居住できない場合は、避難所である令和小学校に避難。

⑦ 防災会役員は家族の安全を確認後、災害時必要な

機材保管場所に赴き、被害者の救助や高齢者、幼児、身体障害者等の避難誘導に協力しつつ、避難所開設基準に達したと判断した折は令和小学校の避難所に集合する。

⑧ 避難所開設後は別途作成されている「中野区避難所運営マニュアル（令和小学校）」に従い、避難所管理、運営を行う。尚、各組織の活動要員に不足がある場合は、避難者の協力を得て、部員を補充・組織する。

⑨ 自宅避難者も令和小学校において食糧などの備蓄

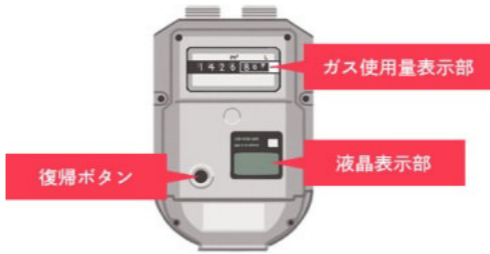
品、炊出しの支給を受けられるので、その場合は令和小学校「避難所庶務部」で避難者名簿に登録を行う。

【ライフラインについて】

① 電気ストーブ等は、通電時に火災の危険のあるので、災害に伴う停電、計画停電の際には、必ず電源のコンセントをはずしておく。

また、家を離れる時は、ブレーキを落とす。なお、道路を横断する際は信号が消えている可能性があるため十分注意する。

② 震度5以上の地震ではガス供給装置の機器が自動的にストップするの



●松が丘山町会防災会

会長 山田晃

新型コロナウイルス感染症防止の為に毎年六月に実施している防災訓練を中止しました。

防災会はこの地区にお住いの方、全員を対象とする「中野区地域防災住民組織」の下部組織です。ご存知でしたか？ 町会の役員が防災会の役員を兼務しています。

中野区からこの組織に助成金が出ますので、本年はこの広報誌を作成、全戸配布させていただきました。

さて、近年地球温暖化の影響が重なり、自然災害の規模が想定外で、被害を大きくしています。災害時、自助・共助・公助とよく言われますが、自助で家族を守ることを第一に準備をお願いします。



●中野パシフィック防災会

会長 久保田巖

中野パシフィック防災会は、松が丘1丁目にある「パシフィック中野」と「パシフィック松が丘」の居住者で構成された防災会です。

地域としては、松が丘片山町会に属していますが、松が丘片山町会防災会とは別に独立した組織として運営しています。

近年は、大地震への備えだけでなく、大型台風や集中豪雨による風雨への備えも大切になってきました。

これまで以上に、住民同士の連携を深め、自助、共助につながる備えを心がけていきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願います。



中野区危機管理課

地域防災係 北地域担当 大内佑介・岩井拳士

平素から様々な防災活動にご尽力いただきましてありがとうございます。災害はいつくるかわかりません。震災などの大規模災害時には、自分の命は自分で守る自助、地域の安全はみんなで守る共助がとても重要です。

近年、地域コミュニティに参加しない人も増え、地域の力がだんだん弱くなってきています。是非、皆さんが声を掛け合い、地域の様々な活動に積極的に参加していただくことで、共助の源である地域の力を養い、災害に強い中野区を共に創りたいと思います。

今後は、ご理解とご協力をお願いします。



野方消防署江古田出張所

所長 上園 誠

松が丘片山町会の皆様、日頃の防災活動、さらに今回は、防災特集号の発行と防災意識の高さに感謝と敬意を表します。

地震対策では、「地震だ！まず身の安全」など地震そのもののポイント、「家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう」など地震に対する10の備えも、水害対策では、段階ごとの行動（東京マイ・タイムライン）も重要です。また、コロナ禍で避難所も厳しい状況と思われます。野方消防署では、日々感染対策に奮闘する中、野方消防団第三分団と連携し、「新しい日常」に即した災害・防災活動を推進中です。



野方消防団第三分団

分団長 城所清二

松が丘片山町会の皆様、日頃から地域の防災活動にご協力をいただきありがとうございます。私も野方消防団第三分団は、松が丘・江古田・江原町を担当地区として消防署の皆さんと協力しながら活動しております。現在、所属団員は18名（絶賛団員募集中）で松が丘在住は4名おります。団員はそれぞれに生業を持ち休日や夜間に訓練を行います。今年はコロナ禍で以前のような訓練ができずおりましたが、団員一致団結し新しい日常に即した消防団活動を始めつつあります。

これからも地域と共に活動していきます。よろしくお願いいたします。

